

令和4年度
青少年委員実践集録

地域で育てよう
未来を拓く青少年！

令和5年3月

杉並区青少年委員協議会
杉並区教育委員会



目 次

あいさつ	青少年委員協議会 会長 泉市 清子 学校支援課 課長 宮崎 敬司	P.2
青少年委員協議会報告		P.3
ブロック活動報告	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	P.4 P.5
専門部活動報告	地域交流部 研修部 広報部	P.5 P.6 P.9
青少年委員だより	第79号 第80号	P.10 P.11
協議会活動	第13回すぎなみ舞祭 杉並区中学校対抗駅伝大会	P.12
委嘱式		P.13
各中学校区での取組	地域教育連絡協議会開催一覧 子ども地域活動促進事業開催一覧 天沼中学校区地域教育推進協議会 高円寺地区地域教育推進協議会 杉並和泉学園校区地域教育推進協議会 神明中学校区地域教育推進協議会	P.14
活動風景	子ども地域活動促進事業 地域教育連絡協議会・地域教育推進協議会	P.22 P.23
委員の実践	絆を深める地域活動	P.24
青少年委員協議会	令和4年度年間活動状況	P.26
青少年委員協議会規約		P.28
青少年委員協議会組織図		P.29
青少年委員協議会委員名簿		P.30



「新時代」

青少年委員協議会 会長 泉市 清子

日頃より青少年委員の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今年度は新メンバー10名を加え、42名の委員で活動しております。

様々な要因が重なって、以前のように全員が集まれる場所・回数・時間が少なくなりました。また、多忙な生活の中では青少年委員としての時間のやりくり日々努力しています。委員同士の雑談、各自の地域活動であったことを話し相談する時間は激減。一人または二人で悩み、孤独を感じている委員も少なくありません。

地域を3つに分けたブロック別や全員で集まれる時には、「教育ビジョン2022：みんなのしあわせを創る杉並の教育」について理解を深め、自分たちのできることは何かを探る時間に費やしました。はじめは読めば読むほど深みに入りモヤモヤしていた委員も、短い時間でも濃密な対話を重ねるうちに、悩んでいるのは自分だけではないことを知り、委員間に不思議な連帯感が生まれました。研修で牧野先生や増田前会長からのお話を伺った時には、力まず自信をもって活動すればよいのだと、霧が晴れたすっきりした気持ちになれたようです。

私が会長に就任した日、「委員一人ひとり個性豊かだけれど、同じ志をもった良い仲間であること」「青少年委員協議会は委員一人一人にとって居心地の良いホームであること」と全員の前で話しました。みんなのしあわせを創る当事者であるためには、自分自身が「しあわせ」でなくてはなりません。来年度70周年を迎える青少年委員協議会のしあわせな新時代は、未来は……これからも委員全員で探っていきたいと思います。

「新しい景色」を目指して

杉並区教育委員会事務局 学校支援課長 宮崎 敬司

昨年、4年に一度のFIFAワールドカップがカタールのドーハで開催されました。2050年までにW杯優勝を掲げる日本サッカー協会はいまだ届かぬベスト8以上を「新しい景色」と位置づけてこの大会に挑みました。結果的には、悲願のベスト8進出はならず、「新しい景色」を見ることは叶いませんでしたが、日本にとってはこれまでにない収穫を得た大会となりました。

さて、早いもので、もう1年の活動のまとめをする時期になってしまいました。この1年を振り返りますと、コロナ禍で中止・縮小していた地教連・地教推の活動の再開や、すぎなみ舞祭、中学校対抗駅伝大会への応援従事など、まだまだコロナの影響や様々な制約が残る中での活動に、少なくないご苦労があったことと存じます。また、令和4年度は教育ビジョン2022スタートの年であり、ビジョンについての意見交流会や委員研修、地教連・地教推の運営へのビジョンの反映など、ビジョンの地域への理解促進にご尽力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

来年度、令和5年度は青少年委員制度発足70周年を迎えます。70年を振り返りながら、また、次の10年に想いを馳せて、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」が豊かに育ったその先にどんな「新しい景色」が待っているのか。子どもたちがどんな「新しい時代」を見せてくれるのか、ワクワクしてしまいます。これからも皆様のご指導を賜りながら、一緒になって考え、取り組んで参りたいと存じます。今後も引き続き、未来を拓く青少年の育成のためにお力添えをいただきますようお願いを申し上げます。



【青少年委員協議会報告】

令和4・5年度活動テーマ 「地域で育てよう 未来を拓く^{ひら}青少年！」

青少年委員は、各地区の青少年育成委員会からの推薦を受け、教育委員会から委嘱されています。各小学校区に1名の配置で、現在42名の委員で活動しています。

新型コロナウイルスが感染拡大してから3年になります。世の中も少しずつ動き始めていますが、まだまだ先が見えず不安な日々が続いています。子どもたちには、この予測不能な時代において、前向きにたくましく、明るい未来を切り拓いてほしいとの思いを込めて、引き続き「地域で育てよう 未来を拓く青少年！」をテーマに掲げています。

青少年委員は各担当小学校区において、小学校、児童館、幼稚園、保育園、子供園、町会などのメンバーで構成される「地域教育連絡協議会(地教連)」の事務局として、懇談事業や子ども地域活動促進事業(子促)を行っています。また、天沼中学校区、高円寺地区、杉並和泉学園校区、神明中学校区では「地域教育推進協議会(地教推)」の事務局として、地教連よりも大きな枠組みで地域での多様な活動を行っています。昨年に引き続きコロナ禍での活動は、各中学校区において話し合いの上、開催又は中止しています。なるべく中止とならないようにコロナ禍でも出来ることを考え、工夫して新しい形で開催しています。

今年度の青少年委員協議会は、コロナ禍でも柔軟に対応できるように、①オンライン、②杉並区を3つに分けたブロック会、③全員対面式、の3つの方法で全体会

を行いました。それぞれの特徴を生かし、少人数でのグループトークや、情報共有、研修を兼ね、自己研鑽と意識の向上に努めました。それに伴う三役会や役員会は毎月開催しています。

協議会には研修部、広報部、地域交流部の3つの専門部があります。

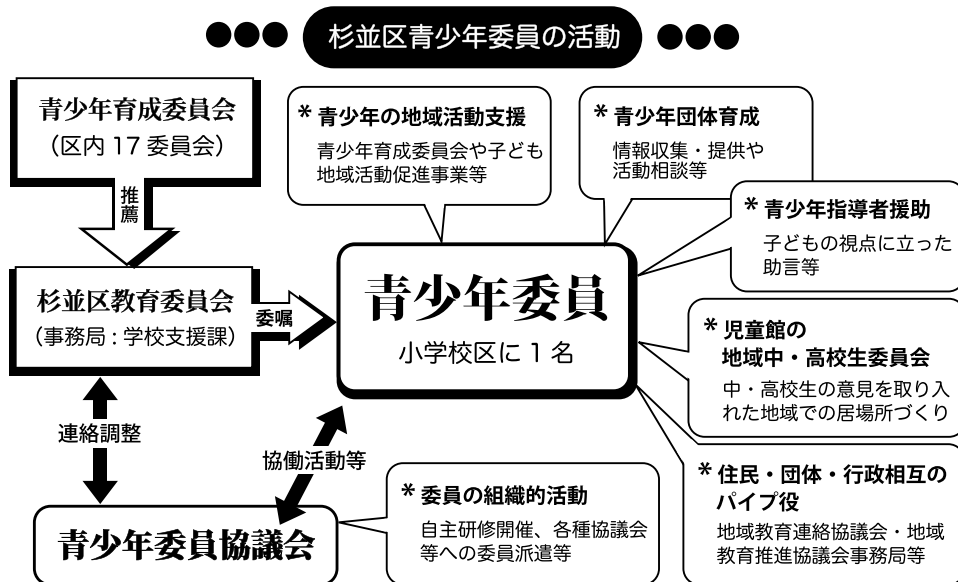
研修部は、行政主催の基礎研修(青少年委員として必要な知識を学ぶ)、委員研修(充実した活動のために学ぶ)、実技研修(活動のために必要なスキルを学ぶ)に積極的に関わっています。また協議会主催の自主研修を企画・運営し、青少年委員の研鑽を図っています。

広報部は「青少年委員だより」を年2回発行し、活動の周知を図っています。また、一年間の活動をまとめた「青少年委員実践集録」を作成しています。

地域交流部は、主に青少年を育成する団体との交流を企画・運営していますが、今年度は、放課後等居場所事業者との交流会を開催しました。

協議会は今年度より東京都青少年委員会連合会から退会し、杉並区内での青少年委員本来の活動を見直し、子どもたちのために何が出来るかを考え活動を行っています。

また、区内行事の派遣活動として、すぎなみ舞祭、中学校対抗駅伝大会、ファミリー駅伝に参加協力しました。他、区内青少年活動に関わる委員会等にも多数出席しています。(岡田 美津江)





【ブロック活動報告】

第1ブロック

『世界的パンデミックを経て、今もなお第8波のあおりを受けている昨今、私たちは何をすべきか?』と考えた時、『1つではない解を数多く得ることは、とても重要なことだ。』これは1ブロックに在籍する、ある青少年委員の言葉だ。

今年度は『教育ビジョン2022』を理解するため多くの時間を費した。ブロック別で行われた会議ではアットホームな雰囲気の中、皆の考えや経験、具体的なエピソードなども加わり大いに盛り上がった。あたかも気軽なおしゃべり風なのに、その実態は杉並区の未来を担う子どもたちへの熱き思いが端々に…。そのかいても有りか無しか、委員同士の共通理解を得てさらにそれらを深めることが出来た大変有意義な時間となった。

コロナ禍で機会の減っていた我らのコミュニケーション、我ら1ブロックでの会議ではその重要性を各々が改めて実感した。この様なコミュニケーションを私たちは地域や学校そして子どもたちと繰り返し続けることの意味をすでに知っている。

おそらく、今後の活動の中で幾多の難問や対応に困る事に直面する時もあるだろう。そんな時の仲間の怒り顔や悩ましい顔が思い浮かぶのもしかり。しかし、私たちはこれからも子どもたちと関わり、地域と関わり、学校と関わり、こんなにも柔軟に懐深く対応し、良いも悪いも丸っと受けとめるこの絶妙な感覚、そして時には優しいだけではないピリッと厳しい判断をしていくのだ。解は1つではない、縦横無尽に増殖し続ける未来のように。

改めて言う!

『我ら1ブロックは精鋭たるメンバーの集りだ。』

という面白い話。

(山崎 愛)



第2ブロック

今年度の2ブロックは新しい委員4名を迎え、14名でのスタートとなりました。しかしながら、またもコロナと付き合いながらの1年です。

ブロック研修は9月8日(木)に環状七号線地下調節池の見学を行いました。環状七号線の広大な地下トンネルのおかげで、水害が多発した神田川流域の浸水被害が激減しています。実際に地下トンネルに入ってみると、その広大さに圧倒されました。また、見学後にはランチにも行くことができ、新しい委員とも親睦がはかれました。

7月と10月に行われたブロック別定例会では、距離感がぐっと縮まった中で密度の濃い意見交換会を行うことができました。地域・学校・青少年委員、それぞれの団体の横のつながりがうまくいっている地域、うまくいっていない地域の差が浮き彫りとなりましたが、ブロック内で思いの丈を話すことができ、改めて話をすることの大切さを、皆が実感したのではないのでしょうか。

1年が終わろうとしている今、コロナ禍での制約はありましたが、私たちは青少年委員としての経験を通して、固い結束と深い絆が生まれたと思っています。今後もコロナとの共存になるかと思いますが、「コロナ禍だからこそできること」と考え、新年度に向けて、メンバー全員が一丸となって元気に明るく協力しながら、更なる飛躍を目指して邁進していきたいと思っています。そして、あんなことがあったねと、マスクなしで笑って話せる日が来るのをひたすら願います。(目黒 由美)





第3ブロック

今年度は、新しくなった教育ビジョンをもとに、委員自らも「しあわせ」感のある活動にしていければと思いつながら、活動してまいりました。同じブロック内でも、学校区ごと地教連の話をしてみると、違いに気付いたり、共通の課題があったりと、改めてブロック内の横の繋がりの大切さを感じる年になりました。

そういったところから、ブロック内の他校を知る活動として、今年度のブロック研修は、「高円寺学園見学」を実施致しました。新しい施設ということで、ちょっとしたフリースペースやランチルームなど、多様な利用が可能になりそうな教室以外の空間は、特徴的と思いました。子どもたちもICTに親しんでいるようで、複数のプリンターのあるスペースでは、小学生が自分のタブレットからプリントアウトしている様子も見ることができました。屋上では菜園や花壇も充実、この日は快晴で富士山を望むこともできました。見学後には、学園長をはじめ、学童クラブ運営団体の職員さんともお話する機会をいただき、放課後の居場所や過ごし方について伺いました。

この夏、仙台育英高校野球部・須江監督の「青春って、すごく密なので～」は、心を打ちました。青春と言うには、些か年齢的には???な3ブロックメンバーではありますが、お互いの気持ちは「密」に、青春しているような「しあわせ」感のある委員活動を、心掛けたいと思います。(宮内 康子)



【専門部活動報告】 地域交流部

今年度もコロナ禍でのスタートとなりましたが、主な活動である他の団体との交流会を、3年ぶりに開催することができました。放課後等居場所事業者の皆様をお迎えし、相互の情報交換の場となり、お互いの活動を知る良い機会となりました。また、「ふれあい運動会」、「ファミリー駅伝」への派遣協力を担当しました。

(若井 比呂子)

杉並区放課後等居場所事業者との交流会

日 時：令和4年9月2日(金) 10:00～

場 所：杉並区役所中棟6階 第4会議室

放課後等居場所事業とは、これまで、区の児童館で小学生が過ごしてきた居場所機能を、小学校内に継承し



充実を図るものです。放課後等に利用していない小学校内のスペースを活用し、従前の児童館と同様、室内遊びや外遊び、季節の行事やプログラムなどを行います。

杉並区では、平成29年4月に杉並和泉学園で初めて実施され、令和4年4月の時点では14校で実施されるようになりました。今回、この運営を委託されている事業者と子ども・子育てプラザ、児童館の方々と8つのグループに分かれて懇談を行いました。学校の中に学童クラブと放課後等居場所があるので子どもたちの見守りがしやすい、安全に過ごせる、学校内に専用の部屋があるので遊び道具などの片付けが必要ないので帰りの時間ギリギリまで遊べる、近くの事業者同士でプログラムを共有していて道具の貸し借りをしているなどのお話を伺いました。居場所事業のスタッフの方々は、広い目で優しく子どもたちに接しているのだなとひしひしと感じました。

一方で、地域の方々の認知度は低いので、どうやっ



て知ってもらうかが課題だそうです。コロナが落ち着いたら、お祭りなどを実施して、地域の方々と関わりたいと話されていました。

3年ぶりの交流会、とても有意義な時間でした。子どもたちにとって居心地のいい居場所が増えていくよう、私たち青少年委員も協力していきたいと思います。
(椎野 玲子)

第59回 ふれあい運動会 中止

開催日：令和4年10月2日(土)

場 所：杉並第十小学校校庭(蚕糸の森公園運動場)

コロナ禍での開催に向けて実施方法の検討を重ねましたが、参加団体の意向も踏まえ中止となりました。

第21回 すきなみ名物ファミリー駅伝

開催日：令和5年2月26日(日)

場 所：杉並第十小学校校庭(蚕糸の森公園運動場)

第21回を迎える今大会が4年ぶりに開催されました。今回は30チームがエントリーされ、各チーム4人でトラックを10周、1.5kmを走りました。速さではなく、宣言タイムが一番近いチームが優勝となる中、孫から祖父母という三世代チームもあり、好天の下ほのぼのとした大会となりました。地域交流部委員は受付・誘導・放送を担い、スポーツ推進委員やチャレンジアスリートの小中学生と交流しながら楽しくお手伝いできました。

(澁谷 薫)



研修部

今年度もコロナ禍が続く中、オンラインも活用しながら、予定通りの研修を行う事が出来たことで『対話の大切さ』を実感した1年でした。

「あらためて、教育ビジョンを理解する」というテーマの元、年間を通じて、各ブロックで度々意見交換も行いました。『対話』によって、モヤモヤしていたことがストンと自分に落とし込めたり、他にも様々な気づきがあったりしました。

3年ぶりに皆で出かけた自主研修は、ブロックを越えた親睦の場ともなりました。久しぶりに皆で楽しく話が出来たので、とても良かったと思っています。

また、研修部内でZoomのスキルアップをしたい！と、順番にホスト役になり、Zoomミーティングを7回行ってみました。画面越しでしたが、色々な話をしたことで、お互いの距離が縮まりました。

来年度も『対話』を大切にしながら、皆で楽しく活動できるヒントとなるような企画を考えたいと思います。

(山本 眞由美)

<基礎研修>

日 時：令和4年5月19日(木) 13:30～

場 所：区役所中棟6階 第4会議室

講 師：「青少年委員及び地教連・地教推について」

社会教育主事 中曽根係長

「地教連・地教推運営事務のポイント」

学校支援課家庭・地域教育担当 杉原係長

研修前半では青少年委員としての職務、また青少年教育の特徴や委員発足となった歴史、新たに施行される杉並区教育ビジョン2022を通して、青少年教育で





取り組むべきテーマは何か？を全員でディスカッションを交わして様々な考えを模索し学びあいました。併せて杉原係長より、事務局運営を進めていく上でのポイントを学び確認しあいました。

今できることを考えて、今後も子どもたちの笑顔と地域の絆のために活動を進めてまいります。（田中 雅子）

<実技研修>

日 時：令和4年9月15日(木) 13:30～
場 所：オンライン開催 Zoomミーティング
講 師：イーグル株式会社 CEO イムソネ 氏
テーマ：「青少年委員のための癒しのアンガーマネジメント～自分理解と相手理解～」

新型コロナウイルス感染拡大の社会全体への影響は大きく、子どもから大人まで誰もが閉塞感や不安を抱えています。できることなら、心から負の感情を取り除き、日々穏やかに生活したいものです。

今回の研修では講師のイムソネ先生から負の感情を代表するアンガー即ち怒りへの対処方法(アンガーマネジメント)を学びました。怒りは、不安や疲れ等のストレスが心に溜まったところに、イラっとする出来事が投げられ発生します。こうしたストレスを我慢するのではなく、減らす工夫が大事なのだと気づきました。

たとえ怒りの感情が生じてても衝動が抑えられるように、「こうあるべきという価値観」が独りよがりになっていないか、「こうして欲しいという相手に対する要求水準」が高すぎないか、「こうなりたいという願望」



に固執していないかを考える訓練が重要です。

頭で理解はしても実行に移すのは難しいところですが、「アンガーマネジメントは才能ではありません。練習すればするだけ上手になります」という先生の言葉を信じて、習得したいと思います。

研修はリモートでしたが、事前アンケートやデジタル技術により双方向に演習が進み、あっという間の有意義な2時間でした。（新留 敬子）

<委員研修に向けての意見交換>

11月10日(木)の委員研修にむけて、ブロック別定例会・全体会で意見交換会を行い、事前学習を行いました。

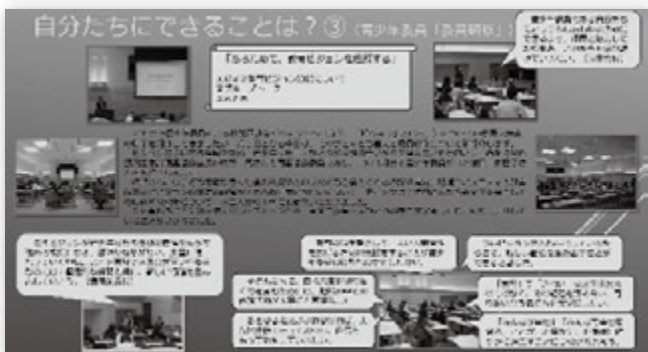
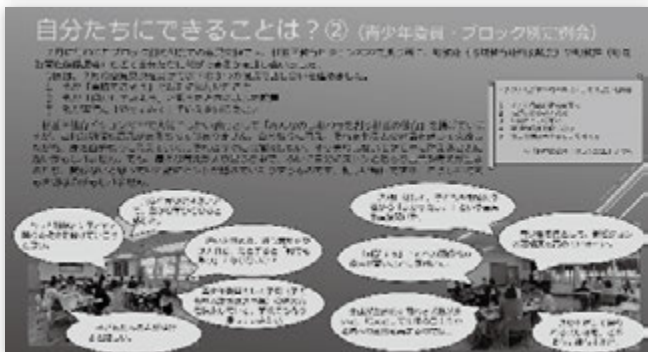
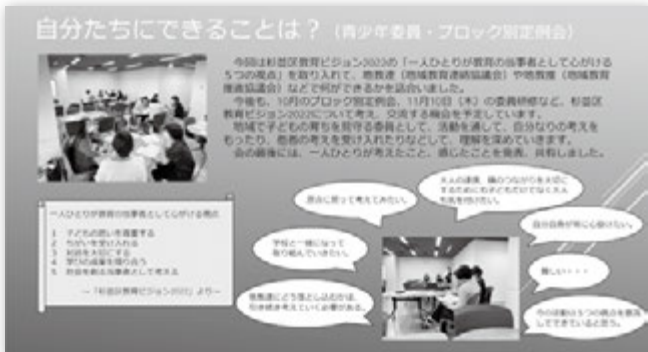
日 時：令和4年7月14日(木) 13:30～
場 所：1ブロック 西荻地域区民センター
2ブロック コミュニティふらっと永福
3ブロック 和田区民集会所

杉並区教育ビジョン2022の「一人ひとりが教育の当事者として心がける(5つの)視点」を取り入れて何ができるかについての意見交換と、地教連、地教推の構成メンバーについての情報交換を行いました。

日 時：令和4年10月20日(木) 13:30～
場 所：1ブロック 西荻地域区民センター
2ブロック 永福和泉地域区民センター
3ブロック 和田区民集会所



教育ビジョンの5つの視点を活動に取り入れて気付いたことを実践してみてどうだったか、実践例や今感じる課題などの意見交換を行いました。(中尾 由加子)



杉並区教育委員会ホームページより

んなのしあわせを創る杉並の教育」が掲げられました。子どもたちの未来に大きく影響する教育は社会にとって重要で、私たち大人にとっ



も大きな関心事です。今回の委員研修では審議会会長を務められた東京大学大学院教授の牧野 篤さんと、前青少年委員協議会会長であり審議会委員だった増田 由巳子さんから、その基本的な考え方や青少年委員の活動とどう結びつくかについての講義を受け、グループトークで理解を深めました。

先行きを見通せない今の時代、子どもたちは生きる力、即ち未来を切り拓く力を備える必要があります。それと同時に大人も「人生はいろいろあるけど、悪くないな」と思える環境を整える責任があります。様々な人が集い、互いに受け入れ合う地域の中での体験活動の大切さを再認識しました。

また、学びのプロセスとしてAAR循環「楽しいことがやってくると思ってわくわくする(Anticipation)→やってみる(Action)→振り返り(Reflection)→」をどう取り入れていけるかにも興味を湧きました。

教育ビジョン2022の先に見える「誰もが社会の創り手として共に生きる社会」、さらには、「誰もが自分らしく生きることができる『みんなが創るまち』」の実現が楽しみになった研修でした。(新留 敬子)

<委員研修>

日 時：令和4年11月10日(木) 14:00～
 会 場：杉並区役所中棟6階 第4会議室
 講 師：東京大学大学院教授 牧野 篤 氏
 前青少年委員協議会会長 増田 由巳子 氏
 テーマ：「あらためて、教育ビジョンを理解する」

約10年ぶりに杉並区の教育ビジョンが策定され、「み





広報部

<自主研修>

日 時：令和5年1月19日(木)

場 所：国立国会図書館 国際子ども図書館

内 容：国際こども図書館見学 全体会・懇親会

心地よい冬晴れの中、今年度の自主研修として『国際子ども図書館』の見学に行ってきました。



明治39年に帝国図書館として建設された建物を保存・再利用して開館した国際子ども図書館の建造物は、天井の彫刻や吹き抜けの大階段の手すり、天井から吊るされたシャンデリアなどすみずみまで美しく、またルネサンス様式の落ち着いた雰囲気感動し、こんな素敵な図書館で読んだ本はより強く子どもたちの感性に響くのだろうという感想を持ちました。

いくつかの部屋分けられた児童書は、海外の本、また外国語に翻訳された日本の本、昔の本などとても多様で、子どもだけでなく大人の感性にも訴えかけてくるものがありました。デジタル化が進み、読書もスマホやタブレットでできてしまう時代になりましたが、紙の本のぬくもりは深く子どもたちの胸に刻むものがあると感じました。

国際子ども図書館の使命に、子どもにとっての読書活動は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生を深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とあるように、読書活動が子どもに与える影響は計り知れません。これを再認識しコロナ禍で中止を余儀なくされている読み聞かせの活動や読書を通じた地域活動の推進を心に決めた委員もいたのではないのでしょうか。

童心に帰って児童書に触れ、改めて読書の素晴らしさを知ることができた有意義な研修となりました。

(渡辺 春香)

青少年委員の活動を多くの方々に理解していただくため、年に2回「青少年委員だより」を発行しています。さらに1年間の活動のしめくりとして、「実践集録」を発行しています。

青少年委員の活動をわかりやすく紹介するとともに、特集やテーマを設けて現状や課題点を共有できるような紙面作りを日頃より心がけて、広報紙を作成しています。

7月に発行しました「青少年委員だより79号」では、自分の地域の担当の青少年委員の名前と顔がわかるように、ブロック毎に分かれた地図と合わせて顔写真とともに担当校を紹介しました。学校へ行く機会がまだまだ少ない今、マスクを外した顔写真入りの広報紙を発行することはとても意味があったのではないかと思っております。

また、3月に発行しました「青少年委員だより80号」では、11月に行われた委員研修をはじめ、教育ビジョンをテーマとした取組を特集しました。今年度より教育ビジョンの内容を学びながら、私たち青少年委員が地域でどのように活動していけばよいのかを考える機会となりました。11月の委員研修のために、7月と10月のブロック別全体会で「自分たちにできること」というテーマでグループワークを行い、意見交換をしました。

少しずつ日常に戻りつつありますが、このコロナ禍において、青少年委員として何ができるのか、広報紙を通じてお伝えできればと思っています。発行にあたりまして、ご協力いただきました皆様方に感謝を申し上げます。

(中尾 由加子)





心づくしの関係性
 「青少年委員会への参加」
 青少年委員会は、区内17地区の青少年が中心となり、地域の活性化や青少年の活動の場を提供しています。今年度は、青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

みんなで楽しむ活動の充実
 青少年委員会は、区内17地区の青少年が中心となり、地域の活性化や青少年の活動の場を提供しています。今年度は、青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

青少年委員会の役割
 青少年委員会は、区内17地区の青少年が中心となり、地域の活性化や青少年の活動の場を提供しています。今年度は、青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

活動の場を拡大
 青少年委員会は、区内17地区の青少年が中心となり、地域の活性化や青少年の活動の場を提供しています。今年度は、青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

左から 委員長、副委員長、幹事、会計、庶務

委員会 分科1年度
 令和4年6月7日(水)
 地区協議会
 中継3室 第4会議室

1ブロック 神明中学校区
 神明中学校区は前年度の6月1日から、地域教育推進協議会として新しい体質がスタートしました。今年度は、「中学生部会」として活動を開始し、小学生と一緒に活動の場を拡大する予定です。今年1,000人を超える卒業生がありますが、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

令和4年度 地域教育推進協議会・地域教育推進協議会 活動予定紹介

2ブロック 富士見中学校区
 富士見中学校区では、近隣小学校と協力し、社会福祉法人部会と協働して活動を行う予定です。中学生部会として活動を開始し、小学生と一緒に活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。

基礎講座 分科1年度
 令和4年5月19日(木)
 地区協議会
 中継3室 第4会議室

3ブロック 細田中学校区
 細田中学校区は、小学生部会と協力し、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。

3ブロック 細田中学校区
 細田中学校区は、小学生部会と協力し、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。

◆編成状況◆
 今年、青少年委員会の活動を拡大するため、各ブロックの青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

活動の場を拡大
 青少年委員会は、区内17地区の青少年が中心となり、地域の活性化や青少年の活動の場を提供しています。今年度は、青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。

青少年委員協議会 専門部会紹介

- ＜研究部＞**
 年に2回の青少年委員会の研修への参加と、1回の協議会主催の研究発表の企画・運営を行います。今年度は、青少年委員会の活動をより一層充実させるために、青少年委員会の役割や活動の場を拡大することを目指しています。青少年委員会の活動は、地域の活性化や青少年の活動の場を提供するだけでなく、青少年の成長や発達にも大きな役割を果たしています。
- ＜地域交流部＞**
 地域交流部の主な活動は他団体との交流です。コロナ禍を考慮しつつ、今年度はできる形で交流活動を行います。また、ふれあい運動会やファミリー交流会、夏のイベントのお申し込みも予定されています。(関係先 北沢区)
- ＜広報部＞**
 年に2回「青少年委員だより」を発行し、年度末には「活動記録」を作成してあります。青少年委員会の活動をわかりやすく紹介できるよう活動づくりを積極的、立案していきたいと考えております。(関係先 中野 自由子)



あなたの地域の青少年委員です

◆ブロック紹介◆

<1ブロック>
 今年度は3名の委員を投入しました。このブロックは向上心があり、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。

<2ブロック>
 今年度のブロックは、新委員4名を投入して、14名でのスタートとなりました。フレキシブルなブロックになりました。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。

<3ブロック>
 今年度、新委員3名と協力して活動を行っています。青少年委員協議会にも参加し、活動の場を拡大する予定です。今年7月と10月に、夏の夜とパンツァーを導入予定で、活動の場を拡大する予定です。

1ブロック 草草地区

2ブロック 高井戸地区

3ブロック 高円寺地区

4ブロック 大塚地区

5ブロック 池袋地区

6ブロック 目黒地区

7ブロック 目黒地区

8ブロック 目黒地区

9ブロック 目黒地区

10ブロック 目黒地区

11ブロック 目黒地区

12ブロック 目黒地区

13ブロック 目黒地区

14ブロック 目黒地区

15ブロック 目黒地区

16ブロック 目黒地区

17ブロック 目黒地区



【協議会活動】

第13回すぎなみ舞祭

開催日：令和4年10月16日(日)

場 所：下高井戸おおぞら公園

令和4年10月16日(日)下高井戸おおぞら公園にて、「すぎなみ舞祭」が開催されました。

朝から大勢の人が行き交い、散歩に来られた方も足を止めて、舞祭の開催を気にしてくださいました。

コロナ禍で縮小されての開催だったり、中止を余儀なくされたりと、この2年開催することが難しかったのですが、今年は舞祭大会、オープンステージと以前と変わりなく開催することができました。

私たち青少年委員は、Tシャツや缶バッジなどのグッズ販売と、本部にて参加者受付・総合案内・各賞の表彰状の印刷など、さまざまな運営のお手伝いをしました。

ダンスチームは舞祭大会で24チーム、オープンステージで17チームの参加があり、参加チームは皆生き生きと楽しそうに踊っていました。すぎなみ舞祭のホスト役であるシーダーユースによる、すぎなみ舞祭の総踊り曲で新曲の「舞え、未来へ」のお披露目や、ダブルダッチのパフォーマンス、新曲「舞え、未来へ」を歌ってくださった庄野真代さんをゲストにお迎えしてのトーク等々盛りだくさんの内容で、大盛況のうち、終了となりました。

久しぶりの大きなお祭りに観客も多く、満喫している様子を、少しずつではありますが、元の生活に戻り



つつあるのだなあと感じました。まだまだ油断はできませんが、「すぎなみ舞祭」が来年もできますようにと願うばかりです。
(小林 朱実)

中学校対抗駅伝大会2022 (第23回)

開催日：令和4年12月11日(日)

場 所：都立和田堀公園陸上競技場(済美山運動場)

とても澄みきった青空のもと、杉並区内の中学校24校、南相馬市から1チームが参加し駅伝大会が開催されました。

開会の挨拶は岸本区長です。「一緒に走りたくなる程、天候に恵まれて、ランニングシューズを持ってくれば良かった。」と話されてました。オープニングは井荻中と中瀬中の吹奏楽部の“風になりたい”と“RPG”の演奏です。とてもリズムカルで 元気の出る演奏でし





【委嘱式】

た。アナウンスは泉南中の演劇部。わかりやすくハキハキと走っている中学生の様子を実況してくれました。

競技は、運動場に戻ってきてからもデッドヒートをしながら順位を上げて襷を渡そうと激走していたり、差があったとしても気を抜かずに必死に走りきろうとする姿が見られました。走り終わって倒れこんでしまう子もいて、看護係の方にサポートしてもらっていました。

優勝は女子も男子も大宮中でした。2位を大きく引き離しての1位です。喜びいっぱい両手を挙げてゴールテープを切っていました。南相馬のチームも大健闘でした。

青少年委員は、当日は会場の出入口の管理を担当しました。中学生は元気に「おはようございます」の挨拶をして会場に入っていました。わたしたちも、練習の成果が出せるようにと気持ちを込めて笑顔で「おはようございます」と返しました。(会田 洋子)



日 時：令和4年4月7日(木) 13:30～

場 所：区役所中棟6階 第4会議室



新しい任期となり緊張と希望を胸に委嘱式が行われ、新しく委員になられた方々ひとりひとりに白石教育長から委嘱状が手渡されました。

教育長からは、青少年委員の役割は“しあわせにすること”、そして好きな言葉が“和顔愛語…^{わげんあいご}和やかな笑顔と思いやりのある話し方で人と接する”とお話があり、どちらも、とても心に響きました。

本年4月から「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げる、杉並区教育ビジョン2022 がスタートしました。青少年委員の役割は“しあわせにすること”。身近な地域で人と人、家庭や地域をつなぐ青少年委員の活動は、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を豊かに育て続けるために、大きな役割を果たします。

各小中学校区ごとに委嘱される青少年委員は2年の任期で、今年はその最初の年です。各担当小中学校区での「地域教育連絡協議会」、「子ども地域活動促進事業」や地域教育推進協議会の運営を担い、“すぎなみ舞祭”や“中学校対抗駅伝大会”などの杉並区のイベントにも協力します。子どもたちの活躍の場や笑顔を増やし、地域の大人たちの絆がより一層深まるように活動して参ります。

子どもたちをしあわせに、地域をしあわせに、そのためには自分自身がしあわせを感じなければと思いました。(会田 洋子)



【各中学校区での取組】

◆ 地域教育連絡協議会 (地教連)

- * 各中学校区ごとに組織され、小学校・中学校の先生、PTA、その地域の方々と構成されています。
- * 年間テーマを決め、年に数回、懇談会や講演会を開催し地域の情報交換の場になっています。

◆ 子ども地域活動促進事業 (子促)

- * 各中学校区ごとに、お祭りやコンサート、ゲーム等さまざまな催しが実施されています。
- * 子ども実行委員会が中心となって企画し、各小学校・中学校の子どもたち、PTA、地域の皆さんの協力と参加があります。

令和4年度 地域教育連絡協議会開催一覧		令和4年度 子ども地域活動促進事業開催一覧	
① 中学校区名 (担当青少年委員)			
② 会長名 ③ 年間テーマ ④ 開催日時 ⑤ 会場 ⑥ 参加人数 ⑦ 内容		② 実行委員長名 ③ 事業名 ④ 開催日時 ⑤ 会場 ⑥ 参加人数 ⑦ 内容 (ねらい、特色など)	
① 高南中学校区 (宮内康子・鈴木里栄)			
地域教育連絡協議会		子ども地域活動促進事業	
② 志達 和雄 (和田三丁目東町会会長) ③ 話してみよう「みんなのしあわせ」 ④ R4.6.28 (火) 13:15~14:45 ⑤ 高南中学校 体育館 ⑥ 33名 ⑦ 趣旨説明・メンバー紹介・年間テーマ・活動予定・子促内容・各学校の様子・グループ懇談		② 立花 忠司 (高南中学校校長) ③ 高南祭 ④ R4.9.10 (土) 14:30~16:30 ⑤ 高南中学校 体育館・ピロティ・理科室 ⑥ 354名 ⑦ 3年ぶりの開催でした。以前の高南祭は生徒会を中心に開催していましたが、今回は実行委員を応募。34名(内4名は小学生)が実行委員になり、全8回の実行委員会を開催。企画・準備・当日の運営をすべて委員が行いました。内容は吹奏楽部の演奏、ステージショー、謎解き、お手玉ゲーム、だるま落とし、射的、キャンディレイ、ホラー動画、地教連コーナー。小学生に高南中を知ってもらい、楽しみながら交流を深めることを目的としており、委員の活躍により、笑顔があふれる素晴らしい高南祭になりました。また、地教連コーナーでは、「話してみよう『しあわせな放課後のすごし方』」というテーマで地域の方々と実行委員が懇談し、有意義な時間をもつことができました。招待者を高南中の保護者1名、杉三小・杉十小の4~6年生とその保護者1名と限定する中、大勢の方に参加いただき、にぎやかな高南祭になりました。	
④ R4.12.13 (火) 13:30~14:30 ⑤ 高南中学校 体育館 ⑥ 34名 ⑦ 活動報告・規約の改正・次年度の事業内容及び協議会メンバー・高南祭地教連ブースで話したこと・情報交換			
① 杉森中学校区 (泉市清子)			
地域教育連絡協議会		子ども地域活動促進事業	
② 青山 亨 (杉並区保護観察会会長) ③ 地域と共に子どもたちの「生きる力」を育む ~つなごう、地域の和~ ⑦ 地域懇談事業は、新型コロナウイルス感染症対策を含め、日程・会場・開催方法等について、検討をしてきましたが、感染拡大防止の観点などにより、残念ながら今年度も中止としました。		② 青山 亨 (杉並区保護観察会会長) ③ 杉森祭 ④ R4.11.26 (土) 10:00~12:00 ⑤ 杉森中学校 ⑥ 400名 ⑦ 各小中学校の先生方のご協力のもと、近隣の小学生を対象に部活動体験&スタンプラリーを実施しました。各部から実行委員を選出し、企画・準備を進めてきました。アトラクションや部活体験に真剣に取り組む小学生と膝をかがめて優しくサポートする中学生の姿はとても微笑ましく、「楽しかったね!」と友達と語りながら帰る小学生の姿に中学生は自信をつけたようです。	

① 阿佐ヶ谷中学校区 (椎野玲子・諸橋記子)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 工藤 康男 (阿佐ヶ谷中学校校長) ③ 子どもたちをとりまく環境と「学校・家庭・地域」の連携について ④ R4.7.13 (水) 10:00~11:30 ⑤ 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室 ⑥ 30名 ⑦ 「コロナ禍のマスクをめぐる」をテーマに、現在の子どもの様子や地域の様子などをグループごとに話し合い、情報を共有しました。	② 工藤 康男 (阿佐ヶ谷中学校校長) ③ ようこそ先輩 ④ R4.12.3 (土) 10:40~11:25 (3時間目) R4.12.10 (土) 8:40~9:25 (1時間目) ⑤ 杉並第七小学校・杉並第六小学校 ⑥ 杉小六・杉七小6年児童 ⑦ 今年度より地域活動ボランティアとしてメンバーを募集し、二つの事業に取り組みました。新たに加わったのが「ようこそ先輩」です。18名の阿佐ヶ谷中ボランティアが杉小六、杉七小6年生の土曜授業に出向き、タブレットで準備した映像を交えて、中学校生活についてリアルに伝えました。
④ R4.11.30 (水) 10:00~11:45 ⑤ 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室 ⑥ 31名 ⑦ 杉並区教育委員会就学支援相談員の松浦隆太郎氏をお迎えし、『共に生きる社会の教育ビジョン』について講演していただきました。合間にグループワークを行い、安心・安全なコミュニケーションの大切さを実感し、有意義な全体会となりました。	③ 春の子どもまつり ④ R5.3.4 (土) 13:30~16:00 ⑤ 阿佐ヶ谷中学校 アリーナ/家庭科室 ⑥ 399名 ⑦ 春の子どもまつり開催にあたっては、杉小六、杉七小の5・6年生からもボランティアを募り、どんなイベントにしたいか、コロナ禍でどうしたら安全に開催されるか、阿佐ヶ谷中ボランティアが中心となって話し合いをすすめながら準備しました。

① 東田中学校区 (神戸朱里・鈴木春乃)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 坂本 聖二 (東田中学校校長) ③ 「心を育てる」 ~家庭・学校・地域の役割とその連携を深める~ ④ R4.7.7 (木) 15:00~16:00 ⑤ 東田中学校 ⑥ 10名 ⑦ 運営委員会メンバーを中心に最少人数で開催しました。自己紹介、各小・中学校の様子を校長先生、PTA会長から報告していただきました。	② 中川 純一 (東田中学校PTA会長) ③ 「ANYTHING OK! 2022」手話体験教室 ④ R4.12.3 (土) 14:00~16:00 ⑤ 東田中学校 ⑥ 17名 ⑦ 新型コロナウイルス感染拡大により2年間中止が続きましたが、今年度再開第1弾は接触の少ない「学び」に重きを置き、手話教室を開催しました。杉並区聴覚障害者福祉協会から講師1名、手話通訳士3名をお招きし、聴覚障害についての基礎知識から始まり、手話で簡単な自己紹介が出来るようになるまで、少人数ならではのきめ細かな指導をしていただきました。「学ぶ」スタイルの子促事業ははじめてでしたが、参加した小中学生による交流の様子も見られ、参加者からは高い評価をいただくことができました。
④ R5.3.1 (水) 14:00~16:00 ⑤ 杉並第二小学校 ⑥ 21名 ⑦ 講演「ヤングケアラーへの理解を深めよう」講師に一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会代表理事・持田恭子氏をお迎えして、ヤングケアラーについて講演していただきました。	

① 松溪中学校区 (目黒由美・村木由紀)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 菅野 雅子 (松溪中学校PTA会長) ③ つなげよう ひろげよう 子どもにとってあたたかい地域 ④ R4.6.28 (火) 13:30~15:00 ⑤ 松溪中学校 ランチルーム ⑥ 32名 ⑦ 新型コロナウイルス感染防止対策を適切に講じた上で、今年度のあそび市についての説明と、各団体に自己紹介・活動報告を手短かにしていただきました。	② 菅野 雅子 (松溪中学校PTA会長) ③ あそび市 ④ R4.11.5 (土) 12:30~16:00 ⑤ 松溪中学校 ⑥ 1,260名 ⑦ あそび市は子育てネットワーク事業と、中学生主体の子促事業が連携して行われる地域のおまつりとして、乳幼児から大人までの参加があります。中学生ボランティアの自主性を引き出す取り組みとして生徒会・中学生ボランティアを中心に活動を進め、地域の様々な団体のご協力を頂きながら運営しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を適切に講じた上で、3部制にて開催しました。開催時期が1カ月ほど遅くなったため、中学生ボランティアが少なかつたにもかかわらず、地域の方々を精一杯おもてなしする松溪中生の姿を久しぶりに見られ、感無量でした。
④ R5.2.22 (水) 10:00~11:30 ⑤ 松溪中学校 ランチルーム ⑥ 26名 ⑦ 今年度のあそび市の事業報告及び、「コロナ禍の3年間~来年度へ向けて」として、コロナ禍における様々な活動、また明るい兆しが見える来年度について語っていただきました。	

① 東原中学校区 (前田小百合)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 小松 進一 (東原中学校校長) ③ 子どもを生かす地域のコミュニティづくり ④ R4.6.28 (火) 10:00~11:00 ⑤ 東原中学校 多目的室 ⑥ 25名 ⑦ 新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。校長先生が変わるなどメンバーの交代もあったので、この会を通じて自己紹介と活動ができ、地域で繋がりを作る良い機会となりました。	② 小松 進一 (東原中学校校長) ③ 子ども主体となったキャリア学習発表 ④ R4.12.21 (水) ⑤ 東原中学校 ⑥ 10名 ⑦ 中学1年生・2年生から希望者10名が参加。キャリア学習としてサイボウズ社を訪問、その後調べ学習をしました。内容をパワーポイントでまとめ、R5年3月の学習発表会で全生徒に発表する時間を持ちました。生徒会活動や塾など忙しい子どもたちは、昼休みに集まるなど工夫を凝らす、作業の役割を分担するなど、子どもが主体的に活動する姿が見られました。
④ R5.2.22 (水) 10:00~11:00 ⑤ 東原中学校多目的室 ⑥ 25名 ⑦ 「地域の防災 最新情報」と題して杉並区都市整備部土木計画課の中村篤史氏を迎え、都市型風水害の特徴やハザードマップの使い方などをお話いただきました。	
④ R5.3 ⑦ 広報紙発行 1,700部	

① 中瀬中学校区 (白瀬理恵・鈴木恵美)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 香西 雅斗 (中瀬中学校校長) ③ 学校・家庭・地域の連携 「育てよう こころ豊かな子どもたち」 ④ R4.6.16 (木) 10:00~11:00 ⑤ 中瀬中学校 被服室 ⑥ 41名 ⑦ 「中瀬フェスタ2022」をはじめ今年度の活動についての話し合いと情報交換を行いました。	② 香西 雅斗 (中瀬中学校校長) ③ 中瀬フェスタ2022 ④ R4.10.15 (土) 14:00~16:00 ⑤ 中瀬中学校 昇降口・体育館・校庭 ⑥ 来校者192名 スタッフ143名 合計335名 ⑦ 中瀬中学校の有志生徒による子ども実行委員が中心となり地域の小中学校のPTAと地域の皆様の協力により昨年引き続き感染症防止対策をとりながら「中瀬フェスタ2022」を開催しました。体育館での舞台発表と校庭でのゲーム大会、中瀬ビオトープ倶楽部の展示とフードドライブを行いました。また今年度は4年ぶりに綿あめの模擬店を昇降口に出店し、地域の子どもたちにお土産として帰る際にお渡ししました。
④ R5.2.10 (金) 9:30~11:30 ⑤ 桃井第五小学校 家庭科室 ⑥ 24名 ⑦ 授業参観の後、懇談会を行いました。	

① 井荻中学校 (大盛悦子・芦 秋子)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 長谷川 学 (井荻中学校校長) ③ 「生きる力をはぐくむ地域」～輪から環へ～ 「地域で考えるこれからのつながり」 ④ R4.7.7 (木) 10:00~12:00 ⑤ 井荻中学校 多目的室 ⑥ 41名 ⑦ 井荻中学校区 (井荻中・桃一小・四宮小) の校長先生にそれぞれの学校の様子などの話を伺った後、教育ビジョン2022について、桃井第一小学校校長高橋先生よりお話を伺いました。	② 長谷川 学 (井荻中学校校長) ③ 井荻中学校部活動体験&見学ツアー ④ R4.9.17 (土) 14:00~16:00 ⑤ 井荻中学校 ⑥ 子ども実行委員&部活動体験指導員113名 体験&見学ツアー参加者 (桃一小27名・四宮小33名) ⑦ 井荻中の各部活の活動を小学生に見学、体験してもらい中学校の様子を知ってもらう。実行委員がツアーコンダクターとなり、行程・見学時間・ツアー人数等を話し合い、当日は旗を振りながら小学生を案内しました。部活動体験では部長を中心に丁寧に指導していました。
④ R4.10.28 (金) 10:00~12:00 ⑤ 井荻中学校 アリーナ・多目的会議室 ⑥ 第一部 478名 第二部 34名 ⑦ 「杉並区教育ビジョン2022」が策定されたことから、これから概ね10年間の杉並の教育の基本的な考え方を理解するため、教育振興基本計画審議会会長として策定にかかわられた牧野篤氏をお招きし、第一部井荻中全校生徒向け、第二部地教メンバー、一般参加者向けという2部制の講演会を行いました。	

① 井草中学校区 (新 理恵子・小林朱実)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
<p>③ 地域への愛着を持つ子どもたちを共に育む</p> <p>⑦ 今年度、昨年度のテーマに引き続き「地域への愛着を待つ子どもたちを共に育む」をテーマに新たな組織体制での活動準備を行いました。新型コロナウイルスの影響もあり、思うように進まない事もありましたが、懇談会開催実現に向けて、引き続き準備を進めてまいります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止と新たな活動準備を促進していくため、今年度は活動実施しておりません。</p>

① 荻窪中学校区 (会田洋子・山崎 愛)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
<p>② 田中 奈那子 (荻窪中学校運営協議会会長)</p> <p>③ 学校・家庭・地域社会をつなぎ 共に支え 共に創る</p> <p>④ R4.7.14 (木)、R4.12.6 (火)</p> <p>⑤ 井荻小学校 体育館、桃井第三小学校 体育館</p> <p>⑥ 32名、36名</p> <p>⑦ 第一回は『地域に根ざした子どもを育てる』～地域イベントの新たな創造と展開～、第二回は『地域の新たな関わりを考える』をテーマに懇談をしました。コロナ禍の地域の繋がりを新たに見直し共有、新時代に向け再構築し続け働くことができそうです。</p>	<p>② 小澤 雅人 (荻窪中学校校長)</p> <p>③ 荻中フェスタ</p> <p>④ R4.12.9 (土)</p> <p>⑤ 荻窪中学校校舎 体育館</p> <p>⑥ 185名</p> <p>⑦ 子ども実行委員会による荻中紹介動画(企画、撮影、編集担当)、部活動によるゲームブースや舞台発表、有志によるお化け屋敷や射的等多岐にわたり、小学生の楽しめる催しとなるよう中学生の努力や工夫が多く見られました。今年度より善福寺児童館より引継ぎ子ども・子育てプラザ善福寺が大人実行委員会に加わり、子ども実行委員会にアドバイスや会議室の提供、物品の貸出し等細やかな協力をいただいたことは中学生の地域活動において大きな意義がありました。</p>

① 宮前中学校区 (鈴木孝一)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
<p>② 小寺 正芳 (宮前中学校同窓会会長)</p> <p>③ 広げよう地域の輪 つなげよう地域の心</p> <p>④ R4.6.29 (水)</p> <p>⑤ 宮前中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 37名</p> <p>⑦ 地域教育連絡協議会の主旨説明、今年度の事業について予定紹介、会員の自己紹介、近況報告、情報交換。</p>	<p>② 小寺 正芳 (宮前中学校同窓会会長)</p> <p>③ 宮前スマイル広場2022</p> <p>④ R4.12.3 (土)</p> <p>⑤ 宮前中学校 体育館、中庭、校舎</p> <p>⑥ 507名</p> <p>⑦ 【一部】舞台発表：荻窪小ソーラン演舞、荻窪小管楽器クラブ演奏、宮前中ダンス、宮前中E組演劇、宮前中吹奏楽部演奏【二部】イベント開催：射的、ストラックアウト、スーパーボールすくい、スマイルボウリング、鉄道模型展示、荻小図書ボランティアによる小物販売</p> <p>3年ぶりの開催の為、一学期終業式に時間をお借りして、全校生徒の前にて日程予告と実行委員会公募をPTA副会長と共にPR。20名の実行委員の思いを大切にしながら、小中5校PTAの方々も含め、合計5回の会合を対話形式にて実行。結果、舞台発表を通じて生徒たちは学びの成果を贈ることで、保護者や地域の方々には学びを受け入れることで、久しぶりのスマイルをたくさん見ることが出来ました。また宮中特別支援学級E組の演劇や荻小有志生徒たちによるソーラン演舞も、ちがいを越えた自分の居場所づくりの発見につながったと思います。</p>
<p>④ R5.3.9 (木)</p> <p>⑤ 宮前中学校 視聴覚室</p> <p>⑦ 今年度事業報告、宮前中学校校長鳥居先生講話、会員の近況報告、情報交換。</p>	

① 富士見丘中学校区 (岡田美津江・毒島さつき)

地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 渋谷 正宏 (富士見丘中学校校長) ③ つくろう ふれあおう 子どもにとって あたたかい地域 ④ R4.6.28 (火) 10:15~11:30 ⑤ 富士見丘中学校 視聴覚室 ⑥ 42名 ⑦ 高井戸警察署少年係、荻窪消防署、杉並消防署より、最近の情報などのお話と、各小中学校・地域団体より近況や今後の行事開催予定についての情報交換。	② 渋谷 正宏 (富士見丘中学校校長) ③ 浴風会での花だん作りと高齢者との交流 ④ 年間を通じた活動 ⑤ 社会福祉法人 浴風会 ⑥ 1,359名 ⑦ 今年度の活動も、花だん作りと高齢者との交流を行いました。花だんは、7月にマリーゴールドと日日草、10月にパンジーを植えました。中学2年生が授業中に夏花や雑草を抜き、花植え当日に土を掘り起こしてくれました。花は、小学生と中学生と一緒に植えました。高齢者との交流は、小学生が敬老の日お祝いカード、中学生がバースデーカードとクリスマスカードを作成し、浴風会内の各施設と病院にお届けしました。高齢者の方に大変喜んでいただき、お礼にマスク入れを頂くなどの交流がありました。
④ R4.12.9 (金) 10:00~12:00 ⑤ 富士見丘中学校 視聴覚室 ⑥ 32名 ⑦ 懇談会終了後、「特別支援教育って何?~正しく理解して、知ろう!みんなでささえ合おう~」と題し、発達障害支援の専門家である森山徹氏に講演をしていただきました。	

① 高井戸中学校区 (奥山美奈子・安部音羽)

地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 高津 憲 (高井戸中学校校長) ③ 子どもたちの健やかな成長のため地域との連携を図る ④ R4.7.5 (火) 10:00~11:00 ⑤ 高井戸中学校 多目的室 ⑥ 17名 ⑦ 今年度の予定、自己紹介、各学校の状況、情報交換を行いました。	② 武井 宗義 (高井戸中学校学校運営協議会会長) ③ 高井戸中学校のアンネのバラを広めよう ④ R4.4.15 (金)~R4.11.1 (火) ⑤ 高井戸中学校 多目的室他 ⑥ 延べ11名 ⑦ 高井戸中学校のシンボルである「アンネのバラ」をより多くの人に知ってもらいたい中学生有志が集まり、アンネのバラを使ったアレンジメントフラワーを作り、近隣の小学校にプレゼントしました。またアンネのバラ公開のポスターを作り、地域の小学校や児童館等へ掲示のお願いにまわりました。
④ R4.12.12 (月) 10:00~12:00 ⑤ 高井戸中学校多目的ホール ⑥ 39名 ⑦ 各学校、団体からの状況報告 講演会「みんなのしあわせを創る教育」 ~地域・家庭・学校の協働の取り組みを通して~ 講師：杉並区教育委員 久保田 福美氏	

① 向陽中学校区 (若井比呂子)

地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 齋藤 耕一郎 (向陽中学校校長) ③ 「学校・地域・家庭の連携」 ~子ども達の健やかな成長を願って~ ④ R4.7.12 (火) 13:45~15:30 ⑤ 向陽中学校 図書室 ⑥ 31名 ⑦ 高井戸第三小学校校長馬場先生より3校の小中一貫教育についてお話しいただいた後、「コロナ禍で途切れたもの、続けて行きたいもの」をテーマにグループ討議を行いました。	② 齋藤 耕一郎 (向陽中学校校長) ③ 向陽子どもまつり ④ R5.3.11 (土) 10:00~12:30 ⑤ 向陽中学校 体育館・KSCC旧クラブハウス ⑦ 地域の小中学校の交流を図ることを目的とした「向陽子どもまつり」を開催しました。向陽中学校生徒会を中心に中学生が参加し、運営、進行に携わっています。会場では中学生有志がブースを出したり、企画を考えました。小学校のPTAが、輪投げ・ボウリングを、児童館はもぐらたたきを、また民生児童委員の皆様はバルンアートのブースを出し、参加しました。アトラクションでは吹奏楽部の演奏から始まりKSCCスポーツクラブのキッズダンス、ダンス部のパフォーマンスで締めくくりました。
④ R4.9.12 (水) 13:45~16:00 ⑤ 永福小学校 図書館 ⑥ 23名 ⑦ 小中一貫事業の永福小学校公開授業見学後、都立中央ろう学校校長木村先生に「聴覚障害の理解について」講話頂き、質疑応答。委員より授業見学、講話の感想をいただきました。	

① 松ノ木中学校区(澁谷 薫・小林麻里)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 小川 宗次郎(松ノ木町会会長) ③ [みんなの地域 とともに育てよう] ④ R.4.6.22(水) 10:00~11:30 ⑤ 松ノ木中学校 体育館 ⑥ 30名 ⑦ 会長・各校長・学校支援課挨拶、活動報告と計画、委員の自己紹介、講演会「18歳成人 大人が知っておくべきこと」分かりやすく、いい内容だったと高い評価をいただきましたが、PTAの参加が少ないことが課題として残りました。	② 小川 宗次郎(松ノ木町会会長) ③ ふれあいコンサート ④ R.4.12.3(土) 13:30~15:45 ⑤ 松ノ木中学校 体育館 ⑥ 394名 ⑦ 生徒による実行委員会は3年目、積極的に柔軟性があり、思考力・行動力に目を見張るものがありました。ポスター作成には美術部、おみやげ作りには一般生徒、前日準備にはバスケット部の協力もありました。出演団体の数はコロナ前と同様に10団体。小中連携をさらに進め、小学生によるポスター作成や松ノ木小教職員の出演もあり、例年通り松ノ木中・松ノ木小・堀之内小のPTAの協力により3校と地域が一体となりました。今年度は小学生への「ふれあいコンサート」周知のおたよりに作成するためパソコン部の協力も得て3学期も活動しました。
④ R.4.11.15(火) 10:00~12:00 ⑤ 松ノ木中学校体育館 ⑥ 33名 ⑦ 会長・各校長挨拶、情報共有「新しい教育ビジョン2022の解説」の後、グループディスカッションの時間を設け、参加者の繋がりのおかげづくりになりました。PTAの参加も多数あり、良い懇談ができました。	

① 大宮中学校区(中尾由加子・日吉朋子・山本眞由美)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 澁谷 達雄(堀ノ内一・二丁目町会会長) ③ 顔と顔の見えるつながりのある地域づくりを目指す～コロナ禍でもできること～ ④ R.4.7.11(月) ⑤ 大宮中学校 視聴覚室 ⑥ 31名 ⑦ 最初にアイスブレイクとしてネイチャーゲームを行って交流し、その後、講師に社会教育主事の中曽根聡氏をお迎えし、教育ビジョン2022の内容をわかりやすく説明していただきました。地域の大人として心がけること、また地教連とは？育成委員会との違いは？などについて、改めて共有することができました。	② 関田 誠(大宮中学校校長) ③ D.4-Retry ④ R.5.3.11(土) 14:00~15:00 ⑤ 大宮中学校 体育館 ⑥ 200名 ⑦ 昨年度、初めてのダンス発表会を計画しましたが、コロナ感染者が増加し、開催の1週間前に急遽中止となりました。実行委員の生徒たちが「今年こそは開催したい!」という思いから【Retry】“再挑戦”という意味のある言葉を入れたイベント名を考えてくれました。コロナ禍であるため規模を縮小した開催となりましたが、中学生は土曜日学校で毎月2回練習をしているダンス教室の発表や、友達同士での有志のグループが参加しました。大宮小学校と済美小学校の放課後等居場所からの参加もあり、小学生と中学生がそれぞれ練習したダンスを披露しました。

① 泉南中学校区(渡辺春香・石坂督予)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 藤井 和重(泉南中学校校長) ③ 学校・家庭・地域が協働し青少年の健全育成に繋げる ④ R.4.6.14(火) ⑤ 泉南中学校 多目的ホール ⑥ 43名 ⑦ 自己紹介の後に、「今年度から再開・始動する事について」、「小学校・中学校の校長先生に聞きたい!」の2本立てのテーマについてあらかじめ学校・家庭・地域の方々が組み合わさる様にグループをつくり、グループ懇談を行いました。活動を含めた自己紹介をして、知り合う事が出来ました。	② 藤井 和重(泉南中学校校長) ③ アンネのバラ保護活動 ④ R.4.5.25(水)・R.5.1.21(土)・R.5.3.8(水) ⑤ 泉南中学校 花壇 ⑥ 140名 ⑦ アンネのバラの保護活動を通し、様々なことを学びました。学校・地域の方々、保護者との交流から平和についてのお話等をして頂いたり、お互いの顔を知り合う機会が出来ました。また、腐葉土づくりや花壇整備を通して環境循環について考えたり、自然を愛する気持ちや環境美化について意識が芽生えた様子がうかがえました。綺麗な花壇を囲んで、地域の輪(和)もつくる事が出来ました。
④ R.4.11.30(水) ⑤ 泉南中学校 校長室 ⑥ 8名 ⑦ 参加者を各校校長先生・各校PTA会長・青少年委員に絞って、PTA活動に携わってみての感想やこれからの活動に向けて、また学校側からみたPTA活動について等をじっくりと意見交換をしました。参加者を絞った事により、話す内容が深まり今後のPTA活動についてより深い懇談が出来、有意義な時間となりました。	

① 和田中学校区 (小森梨沙)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 岩船 守男 (和田青少年育成委員会会長) ③ 子どもたちと共につくる 学校・家庭・地域のネットワーク ④ R4.6.7 (火) 16:00~17:30 ⑤ 和田中学校 視聴覚室 ⑥ 43名 ⑦ 委員自己紹介、年間活動テーマの決定、子促事業について中学生実行委員が開催内容を説明。中学生も会議に参加し、自分たちの学校区に関わってくださる方々や地域を理解する機会となりました。また、「子どもたちの意見を聞き取る」ということを事業の一つとしていることもあり、参加者全員で和田中学校区の地教連についての考え方を共有しました。	② 村山 忠久 (和田中学校校長) ③ 第1回小学生部活動体験 ④ R4.6.11 (土) 14:00~16:10 ⑤ 和田中学校 体育館、グラウンド、教室、畑、和田小学校 体育館 ⑥ 260名 ⑦ 近隣小学校の5・6年生を対象に、中学校の部活動を体験し和田中学校を知ってもらおうと、3年目の取組となりました。実行委員が全体の運営を行ない、部活動では2・3年生の部員が中心となり指導しました。
④ R5.1.28 (土) 11:40~12:45 ⑤ 和田中学校 視聴覚室 ⑥ 41名 ⑦ 子促事業について、中学生実行委員による報告。また、第1回懇談会の内容をふまえて、合同会社Active Learners共同代表、米元洋次氏にファシリテーターをお願いし「これからの地域活動」をテーマに、学校や子どもたちのためにできること・やってみたいこと・地域のために手伝えること等について、中学生も参加して意見交換をしました。	③ 第2回小学生部活動体験 ④ R4.11.5 (土) 14:00~16:10 ⑤ 和田中学校 体育館、グラウンド、教室、畑、和田小学校 体育館 ⑥ 190名 ⑦ 今年度2回目の開催で、1・2年生が中心となり運営しました。実行委員会も各部活動も良い「継ぎ」ができており、年2回開催した成果が表れました。反省会では次年度にむけて改善案の検討を行いました。第2回地教連懇談会では、実行委員が2回の開催を振り返りながら活動内容を報告し、地教連全体で取組について共有しました。
④ R5.3 ⑦ 広報紙発行 2,000部	

① 西宮中学校区 (鳥井敏子・新留敬子)	
地域教育連絡協議会	子ども地域活動促進事業
② 西村 文孝 (杉並区議会元副議長) ③ あいさつと笑顔でつながり子どもと地域 ④ R4.5.11 (水) 11:00~12:00 ⑤ 西宮中学校 2F 多目的室 ⑥ 30名 ⑦ 懇談および熊澤弘之会長退任に伴う新会長選出	② 坂井 初枝 (西宮中学校PTA会長) ③ 西宮冒険記 (アドベンチャー) ④ R4.11.26 (土) 13:15~14:30 ⑤ 西宮中学校 ⑥ 275名 西宮中学校1・2年生200名、小学5・6年生40名、先生15名、小中学校PTA15名、地域5名 ⑦ 小学5、6年生対象の体験入部を開催。西宮中学校区の高井戸第二小学校、高井戸第四小学校、久我山小学校、松庵小学校の5、6年生に募集をして、40名がサッカー部、テニス部、バスケットボール部、バレーボール部、英語部、将棋部、吹奏楽部、美術部、野球部の活動に参加。3年ぶりの子ども地域活動促進事業でした。時間も参加数も縮小しての開催でしたが、中学生が小学生と接する姿もほほえましく、中学生と地域の小学生の交流が温かく深まりました。
④ R5.1.31 (火) 10:00~11:30 ⑤ 西宮中学校 2F 多目的室 ⑥ 30名 ⑦ 講演および懇談 ○教育ビジョン2022「みんなのしあわせを創る杉並の教育」(講師:社会教育主事・中曾根聡氏) ○「西宮中学校・宮前図書館改築計画」(講師:学校整備課教育施設計画推進担当係長・安川卓弘氏)	

◆ 地域教育推進協議会 (地教推)

* 0歳から15歳までの子どもの育成や教育について、協力・連携しながら、子育て・教育に係る課題に取り組んでいます。

① 天沼中学校区 あまぬまスマイル委員会 (大橋ゆかり・高地由希恵)	
② 田中 一恵 (天沼青少年育成委員会副会長) ③ 「だれにも やさしいまち 天沼」をテーマに地域内にある組織・活動のネットワークの広がりを活かし地域社会全体で子どもの育成や教育に取り組んでいます。 ◇全体会◇ ●第1回 ④ R4.7.6 (水) ⑤ ウェルファーム杉並 ⑥ 34名 ⑦ 自己紹介、前年度の活動報告、今年度の活動について ●第2回 まちの懇談会 ④ R5.3.15 (水) ⑤ ウェルファーム杉並 ⑦ 今年度の活動報告、地域活動などについてディスカッション ◇運営委員会 年2回 ◇拡大事務局会議 年2回 ~今年度の事業~ ●天沼小学校防犯教室 (低学年:体験型安全教室) ④ R4.9.3 (土) ⑤ 天沼小学校 アリーナ ⑥ 保護者95名・児童105名 ●天沼小学校防犯教室 (高学年:SNSについて) ④ R4.10.1 (土) ⑤ 天沼小学校 アリーナ	⑥ 保護者24名・児童20名 ⑦ 講師:(株)ステップ総合研究所所長 清永奈穂氏 ●講演会「モデル通学路について」 ④ R4.11.30 (水) ⑤ ウェルファーム杉並 ⑥ 30名 ⑦ 講師:(株)ステップ総合研究所所長 清永奈穂氏 ●こども英語村 (NPO法人KIVこども国際村協力) ④ R5.1.14 (土) ⑤ 天沼小学校 アリーナ ⑥ 児童44名 ⑦ 8か国の外国人インストラクター10人、こども英語村のサポーターの方々とダンスなどを楽しむ国際交流企画 ●子育て講演会「親子で育むアタッチメント」 ④ R5.2.9 (木) ⑤ 天沼児童館 ⑥ 30名 ⑦ 講師:日本アタッチメント育児協会顧問理事 細井 香氏 ◇わかば祭り (杉並区立重症心身障碍児通所施設わかば) ④ R4.7.23 (土) ⑤ 旧若杉小学校 体育館 ⑦ 天沼中学校生徒がボランティアとして参加 ◇スマイルニュース ④ R4.12 発行 ⑦ 発行部数 4,000部 ◇年間事業 ・スマイルバッジ、スマイルポスター ・エコキャップ活動

① 高円寺地区 高円寺うきうきプロジェクト (杉本昌代・鳥切智予美)

- ② 糟谷 一 (高円寺中央地区町会連合会会長)
- ③ 高円寺を一つの場として捉え、次世代の育成をはじめ、高円寺というまちを皆で作りに上げていくため地域と家庭と学校が一体となったネットワークの構築とその活動の推進。

◇懇談会事業◇

- 高円寺会議～第3ラウンド～ (中止)

◇次世代育成事業◇

- はぴはぴフェスティバル
- ④ R4.9.10 (土) 13:10～15:30
- ⑤ 高円寺学園 大アリーナ
- ⑥ 395名
- ⑦ 高円寺学園中学生徒有志で結成された実行委員会の企画・運営によるステージ発表とゲームコーナー。7月に開催予定でしたがコロナの感染状況が悪化したため内容を再考し、9月に延期して開催。昨年度と同様に対象を高円寺学園内に限定して開催しました。

●高円寺ゆめ音楽祭

- ④ R4.12.24 (土) 10:00～12:00
 - ⑤ 高円寺学園 大アリーナ
 - ⑥ 445名
 - ⑦ 参加団体：杉三小音楽教室、杉十小音楽教室、高円寺学園箏クラブ・天鼓隊・小学部音楽教室・中学部吹奏楽部、高南中吹奏楽部
- 3年ぶりに参集しての音楽祭を開催。各校それぞれの演奏を聴きあうことで一緒に音楽を楽しみ認め合うことができました。コロナ禍のため保護者のみ入れ替え制とし一般観覧はなしとしました。

◇その他◇

- 広報紙「うきうき通信」
- ④ R5.3 発行
- ⑦ 発行部数 5,000部

① 杉並和泉学園校区 あすをりなすの会 (浅野雅子・田中雅子)

- ② 吉橋 正美 (元青少年委員協議会会長)
- ③ 地域ネットワークの発展、多様な世代交流を通し、ふるさと和泉を実感し誇りに思える地域づくり

◇運営委員会

- ④ R4.6.2 (木)
- ◇全体会
- ④ R5.3.23 (木)
- ～今年度の事業～
- ◇みんなの夏祭り (中止)
- ◇小学部PTA有志花咲かせ隊決起式
- ④ R4.10.20 (木) ⑥ 54名
- ◇ポリス街角パトロール (通称:PMP) 意見交換会
- ④ R4.11.15 (火) ⑥ 21名
- ◇和泉地区乳幼児児園連施設連絡会
- ④ R4.11.22 (火) 14:30～16:30
- ⑤ レストナック幼稚園 多目的室 ⑥ 18名

◇いずみ図書フェス

- ④ R4.11.26 (土) 9:30～11:30
- ⑤ 杉並和泉学園 図書室 ⑥ 82名
- ⑦ 3年ぶりに対面でいずみ図書フェスを開催。和泉学園図書館の3万冊の蔵書に囲まれ、りんごプロジェクトさんとのコラボレーションにてアクセシブルな図書の体験や、いろは保育園園長先生によるパペット人形劇など乳幼児から大人、地域の方々に杉並和泉学園の魅力を知っていただく機会となりました。

◇学生ボランティア「ROPE(ロープ)」

- ④ ○学習支援 (通年計11回)
 - 中高生ツナガルカイ R4.8.24 (水)・R4.12.23 (土)
 - わくわくスポーツタイム R4.5.21 (土)
- ⑤ 旧新泉小学校防災会議室 ほか
- ⑦ 中高生委員会OBの学生達が和泉をつなぐボランティアとして、コロナ禍における中高生を対象とした学習支援及び、子ども・子育てプラザや方南児童館にてイベント事業に取り組んで参りました。
- ◇IZUMIROOM
- ④ R4.4.19 (火)～R5.3.16 (木) 計101回
- ⑤ 子ども・子育てプラザ和泉、支援本部室
- ⑦ 生徒一人一人に寄り添う支援のための居場所として、児童・生徒の実態に応じ設置場所や支援の方法を工夫しながら運営しています。今年度からは小学部も対象としています。
- ◇さざんかフェスタ (仮)
- ④ R5.3.11 (土)
- ⑤ 杉並和泉学園小アリーナ
- ⑦ 実行委員が企画した各種ゲームやスライム作り等。いよいよ来年は本格開催します。
- ◇広報誌【あすをり】No3.
- ④ R5.3 発行
- ◇和泉親児の会ふかふかしばふあそびFESTIVAL (協力)
- ◇和泉節分祭 (協力)

① 神明中学校区 みんなあつまれ神明の杜 (栗原由香理・土佐 愛)

- ② 長張 健二 (神明中学校同窓会会長)
- ③ 神明中学校区に関わる地域のさまざまな環境にある子どもたちの笑顔と主体性を守り、健全育成への支援を通して、大人も子どもも豊かで活力のあるまちづくりを目指す活動を行う。

◇懇談会事業◇

- ④ R4.6.23 (木) 10:00～12:00
- ⑤ 神明中学校 体育館 ⑥ 40名
- ⑦ 第1部: 昨年度会計監査報告と今年度の事業予定・予算案
第2部: 「トークフォークダンス」
- ④ R5.2.24 (金) 10:00～12:00
- ⑤ 神明中学校 ⑥ 40名
- ⑦ 第1部: 今年度の事業報告と来年度の事業予定
第2部: 「子ども達から学ぶこと」～私は子どもの権利条約をまもれているか?～西荻南児童館 館長 藤本 伸氏

◇運営委員会◇

- ④ 年間9回
- ◇中学生地域おもてなし事業◇
- 神明祭
- ② 清水 美穂 (神明中学校支援本部 本部長)
- ③ 神明祭2022
- ④ R4.9.17

- ⑤ 神明中学校 校庭・体育館・1階教室
- ⑥ 1,270名
- ⑦ 感染対策をしっかり準備して臨みました。飲食以外は、ほぼ例年規模で開催。体育館での4小学校の発表・中学生と地元吹奏楽団体のコラボ演奏は3年ぶりということもあり、大盛況。起震車体験、スタンドパイプ実演など、初めて震災救護所の方にも出展していただき、防災意識と地域の密接な関係を感じてもらいました。
- ◇多世代・異文化交流プロジェクト◇
- ユニバーサルポッチャ体験
- ④ R4.5.8 (日) 13:30～15:30
- ⑤ 大宮前体育館
- ⑥ 障害のある人もない人も一緒に楽しめるポッチャを通して、インクルーシブな地域を目指す事業。
- 「Mondayみなみ」
- ⑤ まちなか・コミュニティ西荻みなみ
- ⑥ 8月以外の毎週月曜日に開催。中・高生のフリースペース
- ◇地域の教育力を高めるプロジェクト◇
- サタスタへの講師派遣
- ゲートキーパーの配布用小冊子作成
- 神明クラブ



【活動風景】

子ども地域活動促進事業

第1ブロック

杉森中学校区(杉森祭)



中瀬中学校区(中瀬フェスタ2022)



第2ブロック

西宮中学校区(西宮冒険記^{アドベンチャー}(部活体験))



富士見丘中学校区(浴風会花だん作り)



第3ブロック

泉南中学校区(アンネのバラ保護活動)



松ノ木中学校区(ふれあいコンサート)



【活動風景】

地域教育連絡協議会等

第1ブロック

東原中学校区
(地教連メンバーの顔合わせおよび活動紹介)



第2ブロック

高井戸中学校区(みんなのしあわせを創る教育
～地域・家庭・学校の協働の取り組みを通して～)



第3ブロック

阿佐ヶ谷中学校区(共に生きる社会の教育ビジョン
～杉並区教育ビジョン2022を生かす～)



地域教育推進協議会

神明中学校区(神明祭)



天沼中学校区(防犯教室)



杉並和泉学園校区(第5回いずみ図書フェス)



高円寺地区(第10回ゆめ音楽祭)





【絆を深める地域活動】

絆を深める地域活動について

私は青少年委員になり母校の担当をして、地域の様々な行事に携わることになりました。昔から当たり前にあった行事は今、コロナの影響や運営に関わってくれていた方々の高齢化により、存続の危機に面しています。

先日、息子たちと見に行った映画「すずめの戸締り」の中で主人公の草太は「本当に大事な仕事は見えない方がいい」と言っていました。

この3年間は、日常生活の中にどれだけの見えない大事な仕事をしてくれている人がいて暮らしていたかを考えさせられる機会となりました。

そして地域の方々もまた子ども達を思い、見守り、活動を続けてくださっていたか。

小学生の頃の私は、そんな大人たちの思いには全く気付かず、盆踊り、お神輿、スケート教室を楽しんでいました。その幸せな時間を一つでも多く子どもたちに残して行けるよう、大人になった今その方々の思いを引き継いで行かなければならないと思っています。これからも地域のつながりを大切に新しい考えを取り入れ、楽しく青少年委員の仕事に取り組みたいと思います。

(神明中学校区 栗原 由香理)

今までも、これからも

小学校PTAでお母さんたちに交じって楽しくコーラスをさせてもらっていた時です。

「今度引っ越すことになったので、私の代わりに青少年委員やってみませんか?」「青少年委員?」「そう。今度、中学校でイベントやるから見に来て下さいよ。」それが全てのきっかけでした。生徒たちの楽しそうな笑顔があふれていたことを覚えています。

私が生まれ育った杉並、宮前。自分が育った町で、学校で子どもたちも育っています。亡くなった両親が私の名前に託した「孝行」を地域や町、学校に向けてみようと思いました。とはいえ民間のサラリーマンとして働く身。公休を活動に合わせて取ることもままならず、地教連に子促活動、育成会と決して満足のいくどころか、周りの方々に迷惑を掛けるばかりでした。そして2年間のコロナ禍が過ぎたサッカーワールドカップイヤー、仕事も一段落して担当も一人となって火が付いたというところでしょうか。日本代表のように前に後ろに右に左に

1mmの可能性も見逃さないよう走り続けました。(笑)

ところで、青少年委員の役割は、地域と学校もしくは地域と地域を結んでいくパイプ役と言います。しかしその役割を果たすには対話に対話を重ねていくしかないと感じています。子どもたちの教育環境を支える地域には多彩な考え方や見識、知見があります。それを繋げて新たな価値を生み出すこと、躊躇せずアップデートしていくことが新たな絆を深めていくものと思います。

またかつてとは違う共働き環境の中でご協力いただいている方々には、その立場を尊重し本当に感謝の念をもって接し、最小限の努力で最大限の結果が生まれるような仕組み作りに励まなくてはならないとも痛感しました。

そうはいっても多くの方々のご理解とご協力に支えられて成り立っていることを忘れずに、謙虚な姿勢で皆様のご意見を拝聴しながら頑張っていければと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

(宮前中学校区 鈴木 孝一)

地域活動を通して

青少年委員になって約2年が経とうとしています。青少年委員のみなさんはすごい方ばかりで、PTA本部の経験もない中学生も育てたことのない私はあまりにも力不足で、「勉強をさせていただきながらがんばります!」という気持ちで今まで活動してまいりました。

そんな活動の中でも、コロナ禍ではありますが、だんだんとイベントなどが再開し始めた今年度…3年ぶりに開催されるおまつりやイベントを、目を輝かせて楽しむ子どもたちの姿に熱いものがこみあげました。

また、子促事業を通して中学生と交流してみると、思った以上にみんな素直でかわいいなと思う反面、いろんなことを考えているし実行もできるし、自分が役に立つことや感謝されることを喜んで見えていました。

青少年委員として子どもたちに『しあわせ』を感じてもらうお手伝いをしようとしていたのに、こちらのほうが『しあわせ』をもらってしまう、子どもたちにはそんなパワーがあると強く感じました。

この様に、杉並区の教育ビジョン2022についての研修会や懇談会等でテーマとなってきた【子どもたちにとっての『しあわせ』について】を今までとは違った視点で考えたり、子どもたちを見守るようになりました。

2年間足らずで何か私がお役に立てたのだろうかと思ふ日々ですが、勉強させてもらうだけでなくお役に立てるように少しずつ成長しながら、これからも絆を深める地域活動に尽力していけたらと思います。

(泉南中学校区 渡辺 春香)



絆を深める地域活動について

青少年委員として活動して1年になろうとしています。まだまだペーパーの私がこのページに何を書くことがあるのかと、いぶかる方もおられるかもしれませんが、この1年を通して、私が見て、聞いて、活動した事を、肌で感じた事を書きたいと思います。

これまで、青少年委員と聞いただけで、何か難しいことをされている方々というのが正直な印象で、まず私が青少年委員となって皆さんと共に学び、考え、活動して行く事など夢にも思わなかったのです。実際活動が始まると、皆さんの考えの深さや行動する速さなどについて行くのがやっとなという感じでした。いえ、ついて行けてなかったかもしれません。口をポカンと開けている間に、色々なことが通り過ぎて行く。やはり私には荷が重すぎた!!というのが正直な感想です。心が折れそうになった

ところを皆さんが笑顔で温かく声をかけてくださる事にどれだけ助けられた事でしょう。少しずつではありますが、活動していくうちに何となく活動していく意味が必要不可欠であるのだと自分なりに考えました。「教育ビジョン2022」、「誰もが幸せになれる」教育など素晴らしい事だと分かっていても、それは感覚だけの話に過ぎず、理解出来ているわけではありません。ただ、青少年委員の活動はその名の通り、あくまで「子どもたちのために!!」この事に尽きるのだという事だけは理解できます!!

皆さんに教えられた通りにしかまだまだ動けていませんが、それでも引き続き青少年委員の活動を続けて行き、少しでもお役に立てるように頑張っていこうと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。
(井草中学校区 小林 朱実)

「新しい形で」

我が家の子どもたちは地域行事が大好きで、毎年楽しく参加していました。青少年委員のお話をいただいた時、家族からは「また母ちゃんが何か引き受けるらしいよ、断ればいいのにね」と反対に近い言葉が聞こえてきましたが、子どもたちに楽しい思い出をありがとうの気持ちと私が生まれ育った杉並への地元愛に背中を押され、勝手にお引き受けしてしまいました。担当の中学校区では以前より20年以上続いた子ども地域活動促進事業の見直しが求められており、大人も子どもも忙しいこのご時世、教職員の方々の負担を減らし、保護者の皆さんがお手伝いしやすく、子どもたちが楽しんでくれる行事を模索するも答えが見つからないまま5年が経ってしまいました。今日の社会は個人主義の時代と言われ、家族形態の多様化により人

と人とのつながり、地域とのつながりが希薄になっていることは否めません。でも誰かと一緒に笑い、助け合い、支え合う、私はそんな世の中であってほしいと思っています。私自身も活動で散々悩み、青少年委員という自分の立ち位置が分からなくなった時、愚痴に耳を傾け親身にアドバイスしてくださったのは、青少年委員や育成委員会の先輩方、学校支援課の皆さんでした。活動から生まれる出会いやつながりに感謝です。新しい行事を定着させるにはまだまだ時間はかかりそうですが、「青少年委員さん、今年は何をしてくれるのかな?」と子どもたちがワクワクしてくれる、そんな行事を地域の方々と一緒に楽しく作っていきたいと思っています。
(東田中学校区 鈴木 春乃)

ようやく一步、まずは一步。

和田中学校区には、杉並区で唯一地教連がありませんでした。以前より地教連設置準備会として懇談会事業や小学生対象の部活動体験などを行ってきましたが、ようやく正式に設置となり、「地教連が必要なのでは」との声が上がってから6年の年月が掛かりました。私が青少年委員になって3年経ちますが、中学校役員を務めていた際に、前任の青少年委員より地教連についてのお話を聞いたのが始まりでした。青少年委員とは地教連とは何かを理解するところから現在に至るまで、ご一緒くださる前任者には感謝ばかりです。設置に向けて地域の皆様に地教連の必要性についてお話に伺うと、同じ校区でも地域により地教連に抱かれる思いは様々で、和田中学校についての思いも様々でした。決して良い印象は

かりではなく、地教連が無かった年月の長さ、地教連が無かった事で失われた校区内の連携の重大さを痛感しました。ようやく正式に設置となった今、少しずつではありますが、校区内の各小学校とそのPTAの皆様、町会の皆様、児童館の先生方などと顔を合わせる機会ができ、今まで不足していた部分の情報を交換することができる、どのような方々がこの校区を支えてくださっているかを子どもたちが知ることができる、そんな環境を築き始めました。地教連の設置までに頂いたたくさんのご理解や、これまでもこれからもご協力くださる皆様のお力を、しっかりと子どもたちに還元できる地教連でありたいと思っています。

(和田中学校区 小森 梨沙)

青少年委員協議会 令和4年度 年間活動状況

月	日	曜日	事業活動・派遣関係
4	12	火	すぎなみ舞祭 実行委員会 社会を明るくする運動推進委員会 第1回実務部会 すぎなみ舞祭 第1回企画・広報部会
	15	金	
	19	火	
5	13	金	社会を明るくする運動推進委員会(第1回) すぎなみ舞祭 第2回企画・広報部会 中・高校生委員会委嘱式(高井戸児童館)
	17	火	
	25	水	
6	1	水	中・高校生委員会委嘱式(四宮森児童館) 中・高校生委員会委嘱式(堀ノ内東児童館) すぎなみ舞祭 役員会 ふれあい運動会 第1回実行委員会 青少年問題協議会(第1回) 中・高校生委員会委嘱式(善福寺児童館) 社会を明るくする運動推進委員会 第2回実務部会
	4	土	
	9	木	
	9	木	
	10	金	
	16	木	
7	14	木	中学校対抗駅伝大会 第1回実行委員会 すぎなみ舞祭 第3回企画・広報部会 社会を明るくする運動推進委員会 第3回実務部会 ふれあい運動会 第2回実行委員会
	15	金	
	22	金	
	22	金	
	23	火	
8	23	火	社会を明るくする運動推進委員会 第4回実務部会
	23	火	
	23	火	
	23	火	
	23	火	
9	2	金	放課後等居場所事業者との交流会 すぎなみ舞祭 役員会 中学校対抗駅伝 第2回実行委員会 ふれあい運動会 第3回実行委員会 すぎなみ舞祭 第4回企画・広報部会
	10	土	
	14	水	
	16	金	
	16	金	
10	1	土	杉並区区制施行90周年記念式典 ふれあい運動会(中止) すぎなみ舞祭 第2回実行委員会 すぎなみ舞祭 従事者説明会 すぎなみ舞祭
	2	日	
	3	月	
	5	水	
	16	日	
	16	日	
11	14	月	社会を明るくする運動推進委員会 第5回実務部会 中学校対抗駅伝大会 第3回実行委員会
	24	木	
12	3	土	中学校対抗駅伝大会 従事者説明会 すぎなみ舞祭 第3回実行委員会 中学校対抗駅伝大会 社会を明るくする運動推進委員会(第2回)
	9	金	
	11	日	
	19	月	
1	4	水	新年賀詞交歓会 二十歳のつどい
	9	月・祝	
2	3	金	社会を明るくする運動推進委員会 第6回実務部会 中・高校生委員会交流事業報告会 ファミリー駅伝 スタッフ説明会 中学校対抗駅伝大会 第4回実行委員会 ファミリー駅伝
	4	土	
	13	月	
	20	月	
	26	日	
3	6	月	すぎなみ舞祭 役員会 社会を明るくする運動推進委員会 監査 活動報告会 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会 青少年問題協議会(第2回)
	7	火	
	16	木	
	27	月	
	27	月	

月	日	曜日	定例会・全体会・役員会等	日	曜日	専門部会	日	曜日	ブロック会
4	7 21 28	木 木 木	委嘱式・定例会・全体会 三役会 役員会						
5	19 26	木 木	基礎研修・全体会 三役会	19 19 19	木 木 木	広報部会 地域交流部会 研修部会	19	木	1・2・3ブロック会
6	2 23 30	木 木 木	役員会 三役会 拡大役員会	9 17 27 30 30	木 金 月 木 木	研修部会* 広報部会(だより校正) 広報部会(だより校正) 研修部会* 地域交流部(ミニ部会)			
7	14	木	定例会・全体会(ブロック別)	14 19 19	木 火 火	広報部(だより配布作業・部会) 研修部(実技研修講師打合せ) 研修部(ミニ部会)	14	木	1・2・3ブロック会
8	25	木	三役会	3 9 10 17 23 24 29 30	水 火 水 水 火 水 月 火	研修部会(オンライン勉強会)* 地域交流部(交流会打合せ) 研修部会(オンライン勉強会)* 研修部会(オンライン勉強会)* 地域交流部会* 研修部会(オンライン勉強会)* 地域交流部会* 研修部会*			
9	1 15 29	木 木 木	役員会 実技研修・全体会* 三役会	14 15	水 木	研修部会(実技研修打合せ)* 研修部(実技研修)	8	木	2ブロック研修会 (環状七号線地下調節池施設)
10	6 20 27	木 木 木	役員会 定例会・全体会(ブロック別) 三役会	12 19 28	水 水 金	研修部会* 研修部会* 研修部(委員研修打合せ)	13 20	木 木	1ブロック研修会 (環状七号線地下調節池施設) 1・2・3ブロック会
11	2 10 24	水 木 木	役員会 全体会・委員研修 三役会	10 10 10	木 木 木	広報部会 研修部会 地域交流部会			
12	1 22	木 木	役員会 三役会				7	水	3ブロック研修会(高円寺学園)
1	5 19 26	木 木 木	役員会 自主研修・全体会 三役会	5 19	木 木	研修部(ミニ部会) 地域交流部(ミニ部会)			
2	2 16 22	木 木 水	役員会 定例会・全体会(ブロック別) 三役会	2 11 13 18 20 21	木 土 月 土 月 火	広報部(実践集録・だより入稿) 広報部会* 地域交流部(ミニ部会) 広報部会* 広報部(実践集録校正打合せ) 研修部会*	16	木	1・2・3ブロック会
3	2 16 23	木 木 木	拡大役員会 定例会・全体会 三役会・会計監査	16 16 16	木 木 木	広報部(実践集録・だより配布作業) 研修部会 地域交流部会			

杉並区青少年委員協議会 規約

第1章 名 称

第1条 本会は、杉並区青少年委員協議会と称し、連絡場所を杉並区教育委員会事務局学校支援課に置く。所在地は、杉並区阿佐谷南一丁目15番1号とする。

第2章 会 員

第2条 本会は、杉並区青少年委員（以下「委員」という）をもって構成する。

第3章 目 的

第3条 本会は、杉並区青少年委員に関する規則第2条の規定による職務の円滑な遂行のための調整、相談、共同活動等を組織的、計画的に進めるとともに、青少年関係諸団体相互の連絡調整を図る。さらに、委員の資質の向上を図るための研修を深め、地域活動における青少年の参画を図り、青少年健全育成を推進することを目的とする。

第4章 役員及び会計監査

第4条 本会に、次の役員及び会計監査を置く。

- ① 会 長 1名
- ② 副 会 長 2名
- ③ 会 計 2名
- ④ 書 記 2名
- ⑤ ブロック長 3名
- ⑥ 専門部長 3名
- ⑦ 会計監査 2名

第5条 役員及び会計監査は、次の職務を行う。

- ① 会 長 会を代表し会務を総括する。
- ② 副 会 長 会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- ③ 会 計 本会の会計事務を行い、監査を経て全体会に決算報告をする。
- ④ 書 記 本会の議事及び活動に関する事項を記録する。
- ⑤ ブロック長 ブロック会を招集し、その連絡調整にあたる。
- ⑥ 専門部長 担当する専門部を取りまとめる。
- ⑦ 会計監査 本会の会計を監査し、全体会に報告する。

第6条 役員及び会計監査は、選挙規定に従い選出し、全体会で承認を得る。

第7条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5章 活 動

第8条 本会は、第3条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- ① 青少年関係諸団体・学校及び官公署等との情報交換、連絡調整に関すること。
- ② 委員の資質向上のための自主研修に関すること。
- ③ 委員相互の連絡協調、調整、相談を密にし、個人活動の充実を図るための支援に関すること。
- ④ 青少年教育に関する調査研究及び広報活動に関すること。
- ⑤ 他地区青少年委員協議会及び青少年関係諸団体との協力関係を深めるための情報交換、交流事業に関すること。
- ⑥ 前各号のほか、青少年健全育成及び青少年の参画支援に関すること。

第6章 専門部及び特別委員会

第9条 本会に次の専門部を置く。

- ① 研 修 部 各種研修を計画、立案し運営にあたる。
- ② 広 報 部 青少年委員だより及び実践集録の発刊等、広報活動にあたる。
- ③ 地域交流部 青少年教育関係各機関・団体との情報交換、交流を計画立案し、運営にあたる。

第10条 必要に応じて、特別委員会を置くことができる。

第7章 会 議

第11条 本会の会議は、次のとおりとする。

- ① 全体会
- ② ブロック会
- ③ 役員会
- ④ 専門部会
- ⑤ 特別委員会

第12条 全体会は、本会の最高議決機関であり、全会員によって構成され会長が招集する。なお、原則として年6回以上開催し、次の事項を審議する。

- ① 事業計画ならびに予算
- ② 事業報告ならびに決算報告
- ③ 役員及び会計監査の承認
- ④ その他必要事項

第13条 ブロック会は、原則として年6回以上開催し、自主的に運営して次の事項を協議する。

なお、ブロック編成は、地域割りにて3つのブロックとする。(旧社会教育会館単位) 各ブロックは、必要に応じて副ブロック長を置くことができる。

- ① 個人活動及び諸団体との情報交換
- ② 役員会・専門部会との連絡調整
- ③ 会員相互の親睦
- ④ その他必要事項

第14条 役員会は、会長・副会長・会計・書記・ブロック長・専門部長をもって構成し、会長が招集する。ただし、代理出席することができる。なお、役員会は原則として毎月開催し、次の事項を審議する。

- ① 当該年度の予算の執行ならびに決算書の作成
- ② 事業計画及びブロック会・専門部会との連絡調整
- ③ その他運営上必要と認めた事項

第15条 専門部会は専門部員をもって構成し、部長が必要に応じて招集する。各専門部は、必要に応じて副専門部長を置くことができる。

第16条 会議は、出席者の過半数で議決し、賛否同数の場合は招集者がこれを決定する。

第17条 学校支援課の関係職員は、各会議に出席し参考意見を述べるることができる。

第8章 会 計

第18条 本会の運営に必要な経費は、会費その他の収入をもってこれに充てる。なお、会計はその年度ごとに定める。

第19条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第9章 規約の改廃及び細則

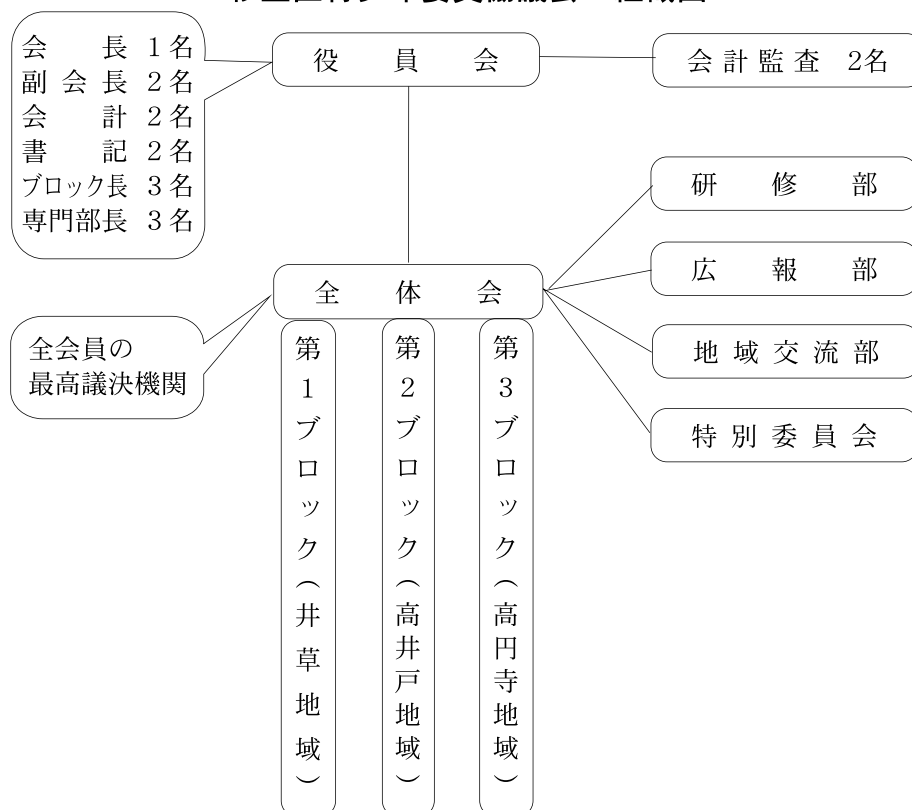
第20条 この規約は、全体会において出席者の過半数の賛成をもって改廃することができる。

第21条 本会の運営上必要な細則は、全体会の承認を経て別に定めることができる。

付 則

この規約は昭和57年4月1日より施行する。
 この規約は昭和58年3月18日より施行する。
 この規約は昭和59年4月1日より施行する。
 この規約は昭和61年4月1日より施行する。
 この規約は平成5年4月1日より施行する。
 この規約は平成6年4月1日より施行する。
 この規約は平成10年4月1日より施行する。
 この規約は平成12年4月1日より施行する。
 この規約は平成14年4月1日より施行する。
 この規約は平成16年4月1日より施行する。
 この規約は平成18年4月1日より施行する。
 この規約は平成24年4月1日より施行する。

杉並区青少年委員協議会 組織図



令和4年度 杉並区青少年委員協議会 ブロック別委員名簿

	氏 名	役 職	専 門 部	担当小学校	担当中学校	推薦育成委員会
第一ブロック	会田 洋子		広 報	井 荻	荻 窪	上 井 草
	芦 秋子	書記	広 報	桃 井 第 一	井 荻	清 查 中 通
	新 理恵子		研 修	桃 井 第 四	井 草	上 井 草
	泉市 清子	会長	広 報	杉 並 第 一	杉 森	阿 佐 谷
	大橋ゆかり		地 域 交 流	天 沼 小	天 沼 中	天 沼
	大盛 悦子		地 域 交 流	四 宮	井 荻	下 井 草
	栗原由香理	会計	地 域 交 流	高 井 戸 第 四	神 明	宮 前
	小林 朱実		広 報	三 谷	井 草	上 井 草
	白瀬 理恵	副ブロック長	地 域 交 流	桃 井 第 五	中 瀬	下 井 草
	鈴木 恵美		研 修	八 成	中 瀬	下 井 草
	高地由希恵	会計監査	研 修	杓 掛	天 沼	清 查 中 通
	土佐 愛		広 報	桃 井 第 二	神 明	荻 窪
	前田小百合		地 域 交 流	杉 並 第 九	東 原	天 沼
	山崎 愛	ブロック長	研 修	桃 井 第 三	荻 窪	上 荻 窪
第二ブロック	浅野 雅子		研 修	杉並和泉学園	杉並和泉学園	方南和泉
	安部 音羽		広 報	高 井 戸 東	高 井 戸	高 井 戸
	岡田美津江	副会長	研 修	富 士 見 丘	富 士 見 丘	高 井 戸
	奥山美奈子	副ブロック長	研 修	浜 田 山	高 井 戸	下 高 永 福
	神戸 朱里		地 域 交 流	杉 並 第 二	東 田	成 田
	新留 敬子	会計	広 報	松 庵	西 宮	宮 前
	鈴木 孝一	会計監査	地 域 交 流	久 我 山	宮 前	宮 前
	鈴木 春乃		研 修	東 田	東 田	成 田
	田中 雅子		広 報	杉並和泉学園	杉並和泉学園	方南和泉
	鳥井 敏子		地 域 交 流	高 井 戸 第 二	西 宮	宮 前
	毒島さつき		広 報	高 井 戸	富 士 見 丘	高 井 戸
	村木 由紀		研 修	桃 井 第 二	松 溪	荻 窪
	目黒 由美	ブロック長	地 域 交 流	西 田	松 溪	成 田
	若井比呂子	部長	地 域 交 流	永 福	向 陽	下 高 永 福
第三ブロック	石坂 督予		地 域 交 流	方 南	泉 南	方南和泉
	小林 麻里		研 修	松 ノ 木	松 ノ 木	堀松梅宮
	小森 梨沙	副部長	広 報	和 田	和 田	和 田
	椎野 玲子	副ブロック長	広 報	杉 並 第 六	阿 佐 ヶ 谷	馬 橋
	澁谷 薫	副部長	地 域 交 流	堀 之 内	松 ノ 木	堀松梅宮
	杉本 昌代	副部長	研 修	高 円 寺 学 園	高 円 寺 学 園	高 円 寺 北
	鈴木 里栄	副会長	地 域 交 流	杉 並 第 十	高 南	和 田
	鳥切智予美		地 域 交 流	高 円 寺 学 園	高 円 寺 学 園	高 円 寺 中 央
	中尾由加子	部長	広 報	大 宮	大 宮	堀松梅宮
	日吉 朋子		地 域 交 流	済 美	大 宮	堀松梅宮
	宮内 康子	ブロック長	広 報	杉 並 第 三	高 南	高 円 寺 中 央
	諸橋 記子	書記	研 修	杉 並 第 七	阿 佐 ヶ 谷	阿 佐 谷
	山本眞由美	部長	研 修	済 美 養 護	大 宮	堀松梅宮
	渡辺 春香		広 報	方 南	泉 南	方南和泉

(令和5年3月現在)

令和4年度
青少年委員実践集録

登録印刷物番号

04-0112

地域で育てよう 未来を拓く青少年！

令和5年3月発行

編集 杉並区青少年委員協議会 広報部
発行 杉並区教育委員会事務局 学校支援課
家庭・地域教育担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話 03(3312)2111(代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>